



かがやく瞳

No. 13

発行日 令和3年3月5日
 発行責任者 豊福 猛
 編集 社会福祉法人
 北見福祉会
 〒090-0835 北見市光西町 178-5
 TEL 0157-57-5057
 FAX 0157-57-4767

じょうぶな体の子ども
 ゆたかな心の子ども
 のびのび遊ぶ子ども

「非認知能力」をはぐくむ

コロナ禍で園行事が変更になるなど、保護者の皆様がお子様の様子を見る機会が減ってしまった今年度ですが、子どもたちはこの一年も、お友だちと仲よく元気いっぱいにご過ごすことができていました。皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

さて、表題の非認知能力につきましてはH31年2月発行の第7号でもお知らせしましたが、とても大切な力ですので再度一緒に考えてみたいと思います。

2000年にノーベル経済学賞を受賞したアメリカの経済学者ヘックマン博士の研究によって、幼児期における非認知能力育成の大切さがクローズアップされました。「人生で成功するかどうかは認知的スキルだけでは決まらない・・・」というのがヘックマン博士の考え方です。

つまり、どちらも大切な能力なのですが、右図の認知能力を育てたいのならば、その土台となる非認知能力から育てる必要があるということです。

この非認知能力を伸ばすのは、どの年代でも可能ですが、まだ脳の柔らかい乳幼児期がずっと伸び率がよいと言われているのです。



